

令和元年 5 月 20 日

## 5 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

群馬県の原木出材は順調で集荷も容易である。原木価格は下落が続いている。工場の操業は順調で原木在庫も十分な状況。首都圏からの注文は増えているが、地場からは低調である。ゴールデンウィーク明けの新規の仕事は低調だが、年末に向けた物件のラミナの生産と羽柄材の補充に忙しい状況。製品在庫は羽柄材が全体的に品薄だが、バタ角や栈木等の土木用材は少し低調である。構造材は品薄だが、間に合っている。原木価格と製品価格のバランスが取れてきているものの、原油高により乾燥コスト等のアップが懸念される。

### 2. 米材

米加産地は時期的に原木の出材は順調で港頭在庫は潤沢な水準になっている。ウェアハウザー社の 5 月積み対日価格(推定)は IS 級\$860 で前月比\$10 ダウンの決着。産地側に値下げ要因は無いが、日本国内の米マツ平角の競合品である欧州 RW 集成平角の先安感を考慮しての値下げとなった模様。米国製材品価格は 8 週続落後、4 月後半より 2 週続伸しているが、反発力に力強さが無い。ランダムレングス紙発表の 15 種平均価格(5/1)は\$353/M で 4 月頭に比べ 1.9%のダウン。中国との貿易摩擦の影響もあって、北米から中国への販売が難しい状況。対日価格も見直しており、先安感が続いている。

3 月の原木入荷量は 270 千 $m^3$ と復調、1~3 月累計で 677 千 $m^3$ (前年同期比 3.5%減)。出荷量は 242 千 $m^3$ と 1、2 月より回復。1~3 月累計で 643 千 $m^3$ (同 3.0%減)、在庫は 201 千 $m^3$ で在庫率は 0.94 ヶ月に増加したが、依然 1 ヶ月を下回った状態が継続している。国内の大手米材製材メーカーの製材廃業で他のメーカーに注文が流れ、稼働は順調である。4 月の東京木材埠頭の入荷は 17 千 $m^3$ (前月比 32.5%減)、出荷は 22 千 $m^3$ (同 3.3%減)、在庫は 53 千 $m^3$ (同 8.0%減)。ゴールデンウィークもあり、製材品の出荷は順調であったが、5 月は各社稼働日が少ないこともあり、荷動きは若干弱含み傾向。

### 3. 南洋材

サバ州の天候は乾季に入り伐採は活発化しているが、依然、原木輸出は禁

止されている。サラワク州も天候は良好で原木生産は活発だが、一部の河川が渇水で運搬に支障をきたしている。インド向けは引き合いも少なく、価格は弱含み。日本向けはアソート内容が厳しいため、高値安定。PNG・ソロモンは天候が悪く、原木生産はタイトである。中国向けが低迷しており、価格の大幅な変動はない。5月予想の原木入荷、出荷量は14千 $m^3$ 、在庫量は33千 $m^3$ 、製材品入荷は30千 $m^3$ 。フリー板市況が非常に悪く、生産調整に入っている。

#### 4. 北洋材

シベリア主要シッパーのアカマツ原木減、品質低下(細材化)の状況は変わらない。アカマツ野縁(30×40)の上級グレードの供給量は依然として低水準である。極東の状況も変わらず、中国市場は価格低迷ながら量的には安定推移。韓国向けは低調。アカマツ現地挽き完成品は引き合いが一服していたが、4月後半から再び活発化している。流通在庫は皆無であり、産地の値上げもあり、ジリ高が続いている。現地挽き原板は完成品同様、生産が回復せず、契約消化が遅れている。シッパーは引き続き強気。国内完成品は各メーカーとも原板入荷が遅れており、注文には全て応えられない状況。更なる値上げの可能性が高い。5月予想の原木入荷、出荷とも9千 $m^3$ 、在庫は18千 $m^3$ 。製品入荷(東京+川崎)は19千 $m^3$ 、出荷20千 $m^3$ 、在庫36千 $m^3$ 。

#### 5. 合板

国産材原木は東北カラマツは高値張り付き、スギは出材安定で落ち着いている。ロシア材は出材が限定的で強含み。米材は弱含みのままで大きな変化はない。南洋材は若干の弱含みで推移している。

3月の国内合板生産量27.5万 $m^3$ のうち針葉樹合板は26.3万 $m^3$ となった。出荷量は25.6万 $m^3$ で在庫量は14.3万 $m^3$ 。在庫量のうち構造用合板は11.5万 $m^3$ で2ヵ月連続で増える形となった。針葉樹合板の価格は一部メーカーの決算があり、安値が少し出ていたが、メーカー在庫が少ないことから5月以降値戻しが進んでいくと見られる。輸入合板は荷動きが依然悪く、停滞感が強い。4月に乱れた価格は、依然中厚品で極端な安値もスポット的に見られる。価格は値戻しが進まず、横ばいで推移している。3月合板輸入量は20.1万 $m^3$ で、マレーシア、インドネシアともに7万 $m^3$ 台の入荷で2ヵ月連続の減少となり、過去1年間で最低の水準となった。産地インドネシアの天候は落ち着いているが、原木価格が低調で伐採が控え目であり、原木在庫は潤沢にはなっていない。マレーシアは天候が良く、伐採は順調で原木は確保できているが、日本向け、他国向けともに受注が芳しくない状況が続いている。

先行き、針葉樹合板はメーカー在庫が減っているので、極端な安値が出る

とは考えにくい。輸入合板はゴールデンウィーク明けの荷動き次第といえる。

## 6. 構造用集成材

5月のラミナ入港は順調。第2・四半期のラミナ価格は下げ傾向。中東、中国、北米からの買いが悪く、北欧から日本向けのオファーが増えている。国内メーカーの受注は5月から増加の見込み、荷動きは例年通りの見込み。RW梁は輸入品が5万円/m<sup>3</sup>台後半、国内メーカー品は6万円/m<sup>3</sup>(4mまでの梁桁)。WW柱は1,880円~1,900円/本で値上げ基調は一服。国内メーカーは採算が合わず、値上げしたいが、横ばいが実情。輸入梁桁のオファーは増えているが、種類が多く、入港も不安定のため、プレカット工場向け契約は苦戦している。

## 7. 木材チップ

チップ原木の入荷は順調だが、FITの制度改革により未利用材の囲い込みが厳しくなっている。解体材の発生量は多く、使用量が少ないため大幅な余剰感がある。各社操業のやり繰りに苦慮。製紙用チップは大手工場の火災事故による受入停止等の影響もあり、消費量が大幅に減少している。燃料用チップは製紙・バイオマス発電とも大型定期修理があり、受入量を徐々に絞り、在庫を削減中である。燃料用チップは各社とも余剰感が非常に強く、製品、在庫置場の確保に苦労している。受入制限、受け止め等の工場が多い。

## 8. 市売問屋

製品市場では大型連休前になっても荷動きが悪く、土台、柱も量が動かない。造作材では国産材の役物の動きが悪く、製材所でも役物の在庫が増えている模様。外材ではスプルー材が品薄で手当に苦労している例も見られる。バイオマス発電、合板工場に流れている原木から製材する製品の値上がりが続いている。

## 9. 小売

一部に品薄感が残るものの全体的には安定している。現場サイドでは人手不足が深刻である。スギ貫の不足感は解消に向かっている。母屋も同様である。スギ、ヒノキとも引き合いが減少し、価格は保合。米マツはRW集成材との競合が見られ、シェア争いが予想されることから弱含み。米ツガ小角は在庫が多く、値下げも見られる。欧州材のWW集成管柱は荷動き一服だが、コストの関係もあり強含み。ロシア材は入荷少なく品薄感が続いており、特に3m材が少ない。針葉樹合板の荷動きは停滞し、首都圏では精彩を欠いている。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↗	↗	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↘			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗ →
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	↗
		アカマツ (KD) 16×40上級	↗	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
		ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→